



# 高村京子県議会報告

党県議団が  
知事に申し入れ

## コロナ禍、災害から いのち・くらしを守る提案

日本共産党長野県議団は9月14日に県庁で9月議会に向けた知事への申し入れを行いました。

申し入れは、▶自宅療養者へのフォロー体制▶社会的検査の対象の拡充▶臨時の医療機関施設の準備▶経営が限界に達している事業者への支援の増額▶「新型コロナ中小企業者等特別応援金支援事業」の適用条件の拡大▶放課後児童健全育成事業が安全に行われるよう従事者や利用者への抗原検査の実施▶大雨災害の復旧は現状回復ではなく地元住民の声を聞いて改良復旧を▶避難所の設置・運営の



長野県庁内で申し入れ  
(9月14日)

改善、見直し▶コロナ禍による生活困窮者への食料支援の強化など9項目です。

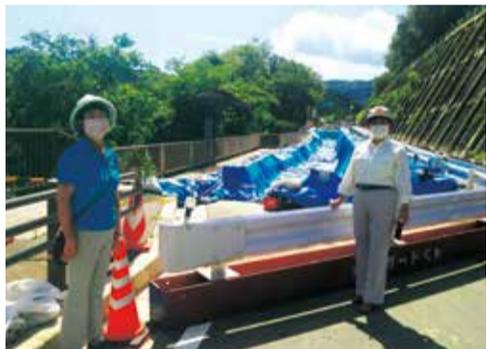
各地の医療体制がひっ迫していることを報告し、団として「松本国立病院跡の施設などを利用してはどうか」と具体的に提案しました。知事は県としても検討した経過があると

し、「最悪の状況とならぬよう引き続き検討していく」と答えました。

8月25日には新型コロナ感染症対策について、感染が爆発的に拡大し医療非常事態宣言も発せられたことから、緊急申し入れも行いました。

### 国道19号の豪雨災害現地調査

犀川に沿う国道19号の長野市街に出るトンネルが7月豪雨による土砂崩れで、昼間片側通行・夜間は不通



信州新町水篠橋付近(9月10日)

となっており、大型車をはじめ終日長い渋滞が発生している実態を和田県議と視察しました。また信州新町の道の駅前も、道路が陥没し今年の春から片側通行となっています。斜面の地滑りが続いており完全復旧には2年ほどかかるとも。安全な国道19号へ国も県も改良復旧対策に全力を尽くすよう求めています。



### 高校受験生の15歳の春を泣かせない

上小地域の高校受験生は他学区からの流入が毎年多く、地元の高校に入れない子どもたちが多く出ています。コロナ禍で保護者の経済的負担が大きく私立や遠距離通学はさらに負担が重くなります。上小地域の小中学校のPTAで短期間に集めた1万4千筆もの

署名をわたし、県教育委員会の担当者に保護者や教員の代表者が切実な要望を訴え改善を求めました。高村も要請に同席しました。



長野県庁内で上小地域の高校入試について要請(9月15日)

### 産業労働・観光・企業委員会

10月4日～6日

産業雇用関係では消費税増税とコロナ禍で、県内中小事業者の経営難がますます厳しくなり休業廃業がかなり出ているが、国の商業統計はH28年以降の数字はない。地域経済の実態を把握する必要があることを指摘し、小規模事業者への経営相談支援体制をさらに強めるよう要望しました。



男女の賃金格差が問題となっています。R2年の厚労省の賃金調査で10人以上の事業所では男性31万2400円、女性は23万1600円で、その差は約8万円！さらに県が調査した4人以下の小規模事業者では男性25万7千円、女性は14万4900円で約9万円もの差があるとの報告。

男女の賃金格差をなくし、同一労働同一賃金、さらに最低賃金の底上げで、普通に働けば普通に暮らせる賃金体系への取り組みを求めました。



しなの鉄道本社と上田交通  
本社と懇談(7月28日)

## 日本共産党県議会報告

No. 10 2021年11月 【2021年9月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行/日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室  
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322  
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ http://www.jcpnagano-kengi.jp/

